

生命科学学院 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

<生命科学専攻>

修士課程

所定の期間在学し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得したうえで、次に掲げる知識・能力等を修得している者に学位を授与します。

1. 生命科学分野における広範で深い知識と応用展開について思考できる能力
2. 高度先進科学研究の応用にも対応できる技術力
3. 研究者・技術者にとって必須である生命倫理・知的財産に関する基本的知識
4. 国際的に通用するコミュニケーション能力・プレゼンテーションスキル

博士後期課程

所定の期間在学し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得したうえで、次に掲げる知識・能力等を修得している者に学位を授与します。

1. 自立して研究活動を行うための基礎となる豊かな学識, 研究立案能力, 分析能力, 応用能力
2. 高度で独創性の高い研究を遂行するために必要な知識と技術力
3. 国際的な先端的生命科学の研究及び開発の場で、リーダーシップを発揮し関わっていくことができる能力

<臨床薬学専攻>

博士課程

臨床薬学専攻における学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)は以下のとおりです。

1. 4年以上在籍して研究指導を受け、設定された授業科目を30単位以上修得し、かつ独創的研究に基づく博士論文を提出し、審査に合格すること。
2. 高い倫理性を持ち、研究者として自立して活動する能力あるいは専門性の高い薬学の知識や技能を必要とする職域を担うための能力を有すること。